

⑪ 日本国特許庁(JP)

⑫ 特許出願公開

⑬ 公開特許公報(A)

昭64-14043

⑭ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑮ 公開 昭和64年(1989)1月18日

B 41 J 3/00

Z-7612-2C

G 06 F 3/12

D-7208-5B

G 06 K 15/00

7208-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑯ 発明の名称 文書処理装置のプリンタの制御方法

⑰ 特 願 昭62-169884

⑱ 出 願 昭62(1987)7月9日

⑲ 発 明 者 野 田 英 治 愛知県名古屋市長区堀田通9丁目35番地 ブラザー工業株式会社内

⑳ 出 願 人 ブラザー工業株式会社 愛知県名古屋市長区堀田通9丁目35番地

㉑ 代 理 人 弁理士 江崎 光好 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

文書処理装置のプリンタの制御方法

2. 特許請求の範囲

増設プリンタ用のインターフェースを具備する文書処理装置により印字出力を実行するプリンタの制御方法において、

文書の印字出力時に、複数台のプリンタへの印字データの割り当てをページ単位で行うとともに、印字出力が終了したプリンタを選択して印字データを順次割り当てることにより複数台のプリンタより文章を順次印字出力するように制御することを特徴とするプリンタの制御方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、ワードプロセッサ等の文書作成装置で作成した文書を印字する際のプリンタの制御方法に関するものである。

(従来技術)

通常のプリンタを内蔵するワードプロセッサ

等の文書処理装置において作成された文書を印字出力する場合、セントロニクスその他のインターフェースを持つ文書処理装置にあっては、そのまま内蔵プリンタを使用するか、または増設プリンタを使用するかは最初に選択しなければならなかった。この選択は完全に択一的であり、大量の文書を出力する場合には所要時間がながくなり不便であった。

(発明の解決しようとする問題点)

本発明は、内蔵プリンタ以外に増設プリンタも使用可能である文書処理装置における文書印刷作業を短時間で効率良く実行することができるプリンタの制御方法を提供しようとするものである。

(発明の構成)

本発明にかかるプリンタの制御方法は、特許請求の範囲に記載の構成、すなわち、文書の印字出力時に、複数台のプリンタへの印字データの割り当てをページ単位で行うとともに、印字出力が終了したプリンタを選択して印字データ

第1図は、本発明にかかるプリンタの制御方法を実施する装置構成例を示す説明図である。

第2図は、本発明にかかるプリンタの制御方法を実施する際の実行内容を示すフロー図である。

図中の主な参照符号の対応は以下の通り。

- 1 : プリンター本体
- P : 内蔵プリンタ
- K : キーボード
- D : ディスプレイ
- 2 : 増設プリンタ

特許出願人

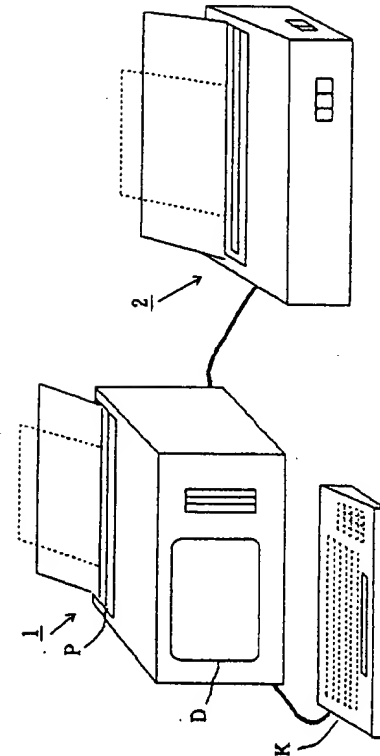
ブラザー工業株式会社

代理人

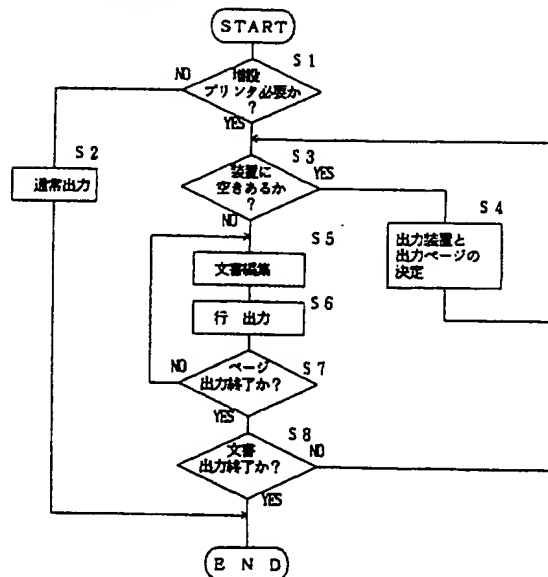
弁理士 江崎 光 好

弁理士 江崎 光 史

第1図



第2図



This Page Blank (uspto)